

HTB スペシャルドラマ「UBASUTE」 「東京ドラマアウォード2015」 ローカル・ドラマ賞を受賞

2014年12月に放送されたHTB制作のスペシャルドラマ「UBASUTE」が、国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会が主催する「東京ドラマアウォード2015」でローカル・ドラマ賞を受賞しました。

10月21日(水)、東京プリンスホテルにて行われた授賞式に出席した演出の海野祐至は「ドラマの脚本はもちろん演出も初めてで、このような賞を頂けて大変嬉しいです。スタッフ、出演者が一丸となって制作できた賜物で感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を励みに、今後も北海道の素晴らしさを伝えていけるようなドラマを制作できればと思います。」と喜びを語りました。

「東京ドラマアウォード」は、“海外にみせたい魅力ある日本のドラマ作品”を表彰するために2008年に創設されたもので、作品のクオリティだけではなく、海外のマーケットで通用するポテンシャルの高さが審査されます。スペシャルドラマ「UBASUTE」は、演出を担当した社員ディレクターが自ら脚本を書き、一段高い創作性に挑戦し、かつドラマ表現として形にした制作力の高さが高い評価を受けました。「東京ドラマアウォード」ローカル・ドラマ賞の受賞は、2010年のスペシャルドラマ「ミエルヒ」に続く2度目の受賞となります。

【受賞作品】	HTB スペシャルドラマ「UBASUTE」
【放送】	2014年12月29日(月) 午後11時40分～深夜1時5分放送(北海道ローカル)
【脚本・監督】	海野祐至(HTB)
【出演】	大和田健介、波瑠、近野成美、中村映里子、草村礼子、他
【ロケ地】	北海道札幌市
【プロデューサー】	数浜照吾(HTB)
【撮影】	三戸史雄(HTB映像)
【音楽】	松谷卓
【制作著作】	HTB 北海道テレビ
【番組内容】	

HTB スペシャルドラマ18作目となる「UBASUTE」は、人との距離感をうまくとれず、社会からドロップアウトしかかっている“ゆとり世代”の若者が、ブログで“ある女性”と出会ったことで自分自身と向き合えるようになり、大きな一歩を踏み出す物語です。

札幌でネットカフェなどを渡り歩く“ゆとり世代”の若者・冬馬(27)。「自分にしかできないことがある」とプライドが高く、何をやっても長続きしない。仕事も転々とし、その日暮らしの日々。“老人が多すぎるからこんな社会になった。姥捨て山があれば…”

ある日、ネット仲間とのやりとりをきっかけに、あるブログに辿りつき、謎の女性ダイアナと知り合う。メッセージのやりとりを続けるうちに、冬馬はダイアナに認められたくて必死に努力を続けるようになる。社会のせいにして忘れたふりをしていた夢にも再び挑み、自分自身とも向き合えるようになっていく。

ダイアナはいったい何者なのか？冬馬はついに会う約束をとりつけた。二人は…。